

心をつなぎ 笑顔あるれる学校づくりを目指して

学校番号 20
 杉並区立四宮小学校
 校長 浮ヶ谷 優美

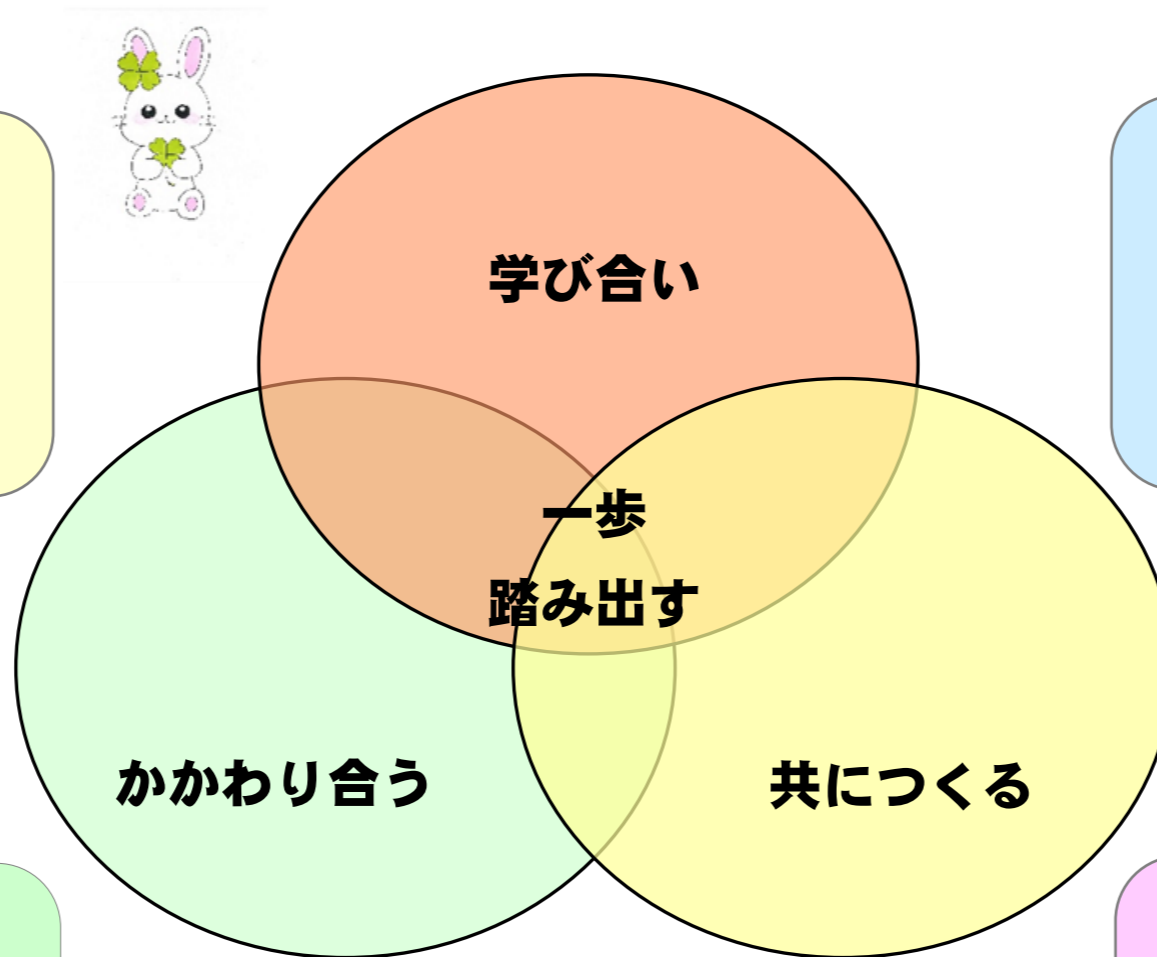
育てたい児童像 ○力強く 人生を切り拓いていける子 ○自他のしあわせを求め よりよく生きる子

自ら学ぶ —深く考え、共に学ぶ主体的な学習—

- ・対話を大切にしたい学び合い
- ・自ら課題をもち、追究し続ける態度の育成
- ・ICTを活用した自律的な学習者の育成と学びの保障
- ・探求心に火をつける授業の充実
- ・家庭学習習慣の定着

学力向上を支える 身体づくり —元気、やる気、根気、勇気—

- ・体育科授業の充実
- ・体力向上月間（年3回）の設定
- ・運動の日常化（朝遊び週5日実現）
- ・基本的な生活習慣の徹底
（早寝・早起き・朝ご飯・朝遊び）
- ・自他の命を守る行動の理解・定着



心をつなぐ —違いを認め、自他を大切にする—

- ・深い児童理解に基づく共感的な学級経営
- ・「挨拶・感謝・応援・役立つ」の行動化を通じた他者との信頼関係の構築
- ・居心地の良い学校学級づくりと自己肯定感の醸成
- ・異学年交流を通じたリーダーシップとフォロアーシップの育成

子どもが主役 —社会の創り手として—

- ・思いや自己決定を大切にしたい学級経営の充実
- ・自治的な学校学級づくり
- ・誰かのために役立つ喜び
- ・みんなで心をつなぐ合唱

家庭・地域とともに歩む

- ・PTA、学校運営協議会（CS）、学校支援本部等と一体となった効果的な教育活動の推進
- ・就学前から中学校までのつながりを生かした連携教育の充実
- ・参加から参画へ。盆踊り、PTA四宮フェスティバルへの子ども参画を通じた、地域の一員としての自覚と誇り育成。

個に応じた学びの場

- ・ICTを活用した個別最適な学びの推進
- ・学習状況に応じたきめ細かな指導（算数習熟度別）
- ・できないことをほったらかしにしないインクルーシブ教育の推進
- ・校内委員会を中核とした組織的な支援体制の構築
- ・学級支援員、学生ボランティア等の活用による学級支援の充実
- ・課題を焦点化した巡回指導（特別支援教室）の充実
- ・クローバー学級と通常学級と連携した共同学習の推進

活力ある職場づくり

- ・副担任、一部教科担任導入による学年担任制による学年経営の充実
- ・全教員がペアOJTを通じた相互研鑽（月1回以上）
- ・講師活用による教員一人あたりの持ち時数軽減
- ・学年会を通じた共通理解と一枚岩の学年経営の充実
- ・協議、合意形成に基づく学校運営の推進